

平成21年度後学期 学生による授業評価アンケート調査（最終）

「アンケート結果に応じて」

所属部局	人文学部		氏名	大友 正広
講義コード	2334007010		講義名	専門ドイツ語基礎Ⅱ
開講曜日	水曜日	9・10 時限	○専門科目・全学教育科目・全学教育科目（理系基礎科目）	
授業回数	15 回	休講回数	0 回	補講回数 0 回 受講登録者数 14 人
成績評価に際し注意した事項				
出席・授業時の達成度・試験等による総合評価				
報告内容				
<p>まず基本的に、このクラスの受講生たちは授業態度が非常に勤勉で、文法練習や訳読担当の際にも、十分な予習をしてきた上で出席している様子だったことを、述べておきたい。いつもなら、授業中に「予習」しているのではないかと思われる人たちが何人かいるものだが、このクラスの人たちは全員が事前準備をかなりの熱心さでこなしていたように見受けられた。</p> <p>アンケートの内容に移ると、質問への応答や学生への接し方という項目では高い数値が出たが、これは少人数での語学の授業なのでこちらとしては当然の振る舞いだったのだが、受講生からも認知していただけたのは喜ばしいことである。</p> <p>また、同じく高評価は、授業の進度という項目にも出た。たぶん、かなりゆっくりめだったと思うけれども、これも少人数ゆえの好作用である。</p> <p>反対に、例によって板書に関しては印象が悪かったらしい。授業でプリントを大量に渡してあるので、板書の重要性は相対的に大きくなかったはずではあるけれども、書き写す方からすれば、きれいな方がよいに決まっているので、今後とも向上の方法を探りたい。文字そのものの巧拙は致し方なきことと受け止めてもらう他ないが、レイアウトや文字の大きさなどは工夫の余地があると思われる。</p> <p>今回のアンケートで最も注目されたのは、授業のテーマがあまり明確でない、と判断された点である。初修外国語の基礎を深め・固める、というのが最初で最後の「テーマ」だったのだが、使用プリントの出典が数種に及んだため、錯綜した印象が出たのかもしれない。今後はもっと整理しやすい方策を考え、例えば晒布プリントの目次作成なども検討してみたい。</p>				